

DOG FIGHT R

レース結果報告書

Road Race Activity Plan

茂木選手権 第4戦 ST250
菅生選手権 第5戦 ST250
ARRC R4 (タイ)
ARRC R5 (カタール)



レース(国内)

Race

ST250 菅生選手権初代チャンピオン獲得！ 筑波・茂木でも上位入賞・上位ランキングで今シーズン終了。

鈴鹿耐久、茂木耐久と夏の耐久2連戦が終わり地方選主権は後半戦というより一気に最終戦を迎えました。参戦初年度ながら各地で上位の成績を収めランキング上位で臨んだ各大会のレース結果をご報告いたします。尚、筑波選手権は台風災害による地域の混乱を鑑みて9月のレースを全てキャンセルとなり、代替え開催の予定も立たない為、そのまま終戦となりました。

スーレ結果

茂木選手権 第4戦 ST250

武佐英典 予選4位 決勝3位 年間ランキング 3位

折川翔馬 予選3位 決勝リタイ 年間ランキング 5位

伊能直矢 予選6位 決勝6位 年間ランキング 4位

菅生選手権 第5戦 ST250

武佐英典 予選3位 決勝2位 年間ランキング 1位

折川翔馬 予選6位 決勝3位 年間ランキング 6位(今回のみの参戦)

筑波選手権 第4戦 ST250

武佐英典 開催中止 年間ランキング 4位

折川翔馬 開催中止 年間ランキング 6位

伊能直矢 開催中止 年間ランキング 10位

レース(茂木選手権)

Race

茂木選手権 第4戦 ST250

武佐英典 予選4位 決勝3位 年間ランキング 3位

折川翔馬 予選3位 決勝リタイ 年間ランキング 5位

伊能直矢 予選6位 決勝6位 年間ランキング 4位

茂木選手権最終戦。一年を通して煮詰めてきたマシンは開幕のころよりも飛躍的に進化し、車体セットアップもまともな上位を走る川崎勢に対して十分勝負できるレベルに仕上がってきておりました。ベテラン武佐選手を筆頭に折川、伊能の3名はフリープラクティスを順調に終え公式予選でそれぞれ4位、3位、6位を獲得。1-2列目から優勝目指してスタートを切ります。

武佐選手・・・スタートで順位を一つ落としますが伸びのあるマシン特性を生かし2周目にトップ4台の集団を形成。レース中盤にはトップに浮上し周回を重ねますが終盤に交わされて準優勝となる。

折川選手・・・スタートダッシュの上手い折川はホールショットを奪いオープングラップをトップで通過し2周目に突入。トップ3台のバトルになりバックストレートでブレーキング争いとなっていたので、いつも以上に激しい突込みになってしまい、ブレーキをリリースしたタイミングで一気にフロントからスリップダウンしてしまいリタイアとなってしまいました。

伊能選手・・・2列目イン側からスタートしたが若干出遅れて7番手に順位を落とすが、直ぐに1台を交わして6番手にポジション復帰。トップ集団を追いかけて徐々に引き離されてしまいレース中盤からは中原選手に追いつかれて2台でのバトルを展開。最終ラップにバックストレートでかわされてしまい惜しくも6位となりました。

レース(菅生選手権)

Race

菅生選手権 第5戦 ST250

武佐英典 予選3位 決勝2位 年間ランキング 1位

折川翔馬 予選6位 決勝3位 年間ランキング 6位(今回のみのスポット参戦)

菅生選手権フル参戦の武佐選手はランキングトップで迎えた最終戦。一方の折川は筑波選手権の中止に伴い急遽参戦を決めたスポット参戦。伊能は試験日程などが重なり参戦を見送った為今回は2名のライダーで参戦しました。土曜日の練習では武佐は順調な仕上がり、一方初乗りの折川も初日から49秒台に入れるなどセンスの良さを発揮しました。迎えた予選で武佐は1分49秒0を記録して3番手とフロントローを獲得。ところが折川は遅い集団に引っかかり、初コース故にペースをつかめないまま予選を終えてしまい練習よりも1秒以上遅いタイムで6番手に沈んでしまいました。

武佐選手・スタートからトップ3台のバトルがスタート。地元のベテラン阿部選手と、筑波で優勝した上原選手との3台による激しいバトルが展開されます。周回ごと、コーナーごとにトップが入れ替わる激しいバトルは最終ラップまで続き、最後は阿部選手が抜け出て優勝。武佐がこれに続き2位となり上原選手は最後のシケインで転倒リタイヤとなりました。この結果、武佐の年間チャンピオンを獲得が決まりました。

折川選手・3列目からのスタートとなった折川は得意のスタートで順位を上げますがトップグループには逃げられてしまいセカンドグループの後方から追う展開。地元のベテラン藤岡選手や若手の横山選手などとバトルを展開。ラスト2周で一気にポジションを上げ、3番手の上原選手の転倒もあり3位表彰台を獲得しました。

レース (ARRC・R4タイ-ブリラム)

Race

アジア選手権 第4戦 SS250

イム選手	予選 29位	決勝ヒート1	23位	、	ヒート2	19位
ベク選手	予選 32位	決勝ヒート1	リタイ	、	ヒート2	25位

タイ・ブリラムサーキットで初開催されるSS250.コース図ではダブルヘアピンコーナーやテクニカルな後半セクションなど中速サーキットの予想で現地入りしましたが、コースを歩くと全体に広いコース幅により250のマシンにとっては全体のアベレージの高い高速サーキットでした。初コースの攻略も開幕戦のころよりも適応能力が高くなってきたイム選手はセッション毎にタイムを削り、目標のポイント奪取に向けマシンを仕上げてゆきました。公式予選では早々に転倒車両に巻き込まれてしまいタイムアップ出来ないまま公式予選を終え29番手と厳しいポジションからのスタート。ベク選手も30番手と後方からのスタートとなりました。

イム選手・・最後列から追い上げて第3集団の後方に追いつくまでは2分0秒台で安定したラップを重ね集団の後方に追いつき、一進一退のバトルを展開。23位でチェッカーを潜り2ヒート目に期待を残す素晴らしいレースでした。翌日の2ヒート目はスタートに集中して一気にポジションアップ。ポイント獲得できる第2集団に割って入りますが、オープニングラップの最終コーナーでオーバーランしてしまい順位を大きく落としてしまいます。それでも前日より順位を上げ19番手でチェッカーを受けました。最終戦も再びブリラムでのレースなので、今回の問題を潰しこんで次回は2ヒートでポイントゲットを目指します。

ベク選手・・最後尾からスタートとなったベク選手はヒート1で転倒してしまいます。修復して臨んだ2ヒート目も単独走行でレースを終える展開。普段600ccのマシンに乗るベク選手はイム選手のように走りを切り替える事が出来ず250レースで苦戦を続けています。

レース (ARRC・R5カタール-ロサイル)

Race

アジア選手権 第5戦 SS250

イム選手	予選 24位	決勝ヒート1	16位	、	ヒート2	17位
ベク選手	予選 25位	決勝ヒート1	22位	、	ヒート2	23位

無いとレースが有名なカタール・ロサイルサーキット。昨年情報を収集して、夜になると寒いよと聞いていたが、今年は昼夜とも灼熱の時期のようで、昼は40度越え、夜になっても30度以上の超熱帯夜の中でフリープラクティス、予選が実施されました。今回はイム選手のエンジンをバージョンアップしましたが、フリープラクティスで好調だったエンジンが予選でトラブルが出てしまいタイムを伸ばせないまま悔しい予選終了となってしまいました。ベク選手と29番手、30番手と後方からのスタートとなりました。

- イム選手・・最後列からのスタートでしたが第2集団に加わりレースを展開。終盤は集団が2つに分かれ始めてポイントゲットの15番手争いとなった第3集団でバトルを展開。ファイナルラップを15番手で通過しましたが最終ラップに一台に交わされ惜しくも16番手でチェッカー。その差0.07秒とあと一步の所まで来ました。2ヒート目は再び修復したエンジンでレースに臨んだイム選手は常に第3集団のトップでレースを展開し最終ラップも集団のトップでチェッカーを受けますが、上位陣の脱落もなく17位でチェッカーとなりました。ペースラップは十分に第2グループに付いてゆけるペースだっただけに予選順位が悔やまれる大会でした。
- ベク選手・・最後尾からスタートとなったベク選手はヒート1、ヒート2と確実にタイムアップを果たし最後は第3集団で走れるレベルまであと少しのところまで単独でタイムを詰めてきました。このスピードを初日から出せるよう走りアレンジできれば決勝でレースバトルが出来て一層の成長が見込める事と思います。

総括

Race

国内のスプリントレースは早くも終了となり、今年目標である優勝やタイトル獲得に於いて、その目標が達成できた事、出来なかった事など様々ですが、若手二人に関しては初戦から高い次元の走りで好成績を収めてくれて周囲を驚かせてくれました。その分期待も高まり、速い段階での優勝といった目標も上がりましたが、地元ベテラン勢の壁を乗り越える事が出来ず初優勝はお預けとなってしまいました。それでも、筑波・茂木・菅生・そして鈴鹿と初体験のサーキットを転戦して得た経験は来季以降に大きな目を伸ばすこととなるでしょう。折川には次のステップへのアップを。伊能には来季もう一度各サーキットでの優勝とコースレコードに挑戦してもらおうと思います。一方でベテランの武佐はマシン開発を担いながら各選手権で安定した速さを見せて、菅生ではタイトル獲得といったベテランらしい強さを発揮してくれました。

スプリントレースは全日程終了となりますが、筑波で行われる耐久が11月28日に予定されておりますので、シーズンの締めくくりとして良いご報告が出来るよう頑張ってお参ります。

アジア選手権に関しましてはイム選手が確実に成長してきており、地元韓国選手権でも好成績を収め始めているので、12月の最終戦では今シーズンの目標であるポイントゲット達成に向け精進致します。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

ギャラリー

Race



ギャラリー

Race



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122